

私たちは、河村たかし名古屋市長の「南京」発言を支持します！

呼びかけ人

- 元内閣総理大臣 衆議院議員、自民党 安倍晋三
- 東京都知事 石原慎太郎
- 埼玉県知事 上田清司
- ジャーナリスト 櫻井よしこ
- 作曲家 すぎやまこういち
- 元総務大臣・衆議院議員・民主党 原口一博
- 衆議院議員たちあがれ日本代表 平沼赳夫
- 評論家・南京の真実国民運動代表 渡部昇一

「南京」意見広告 第2弾 自由な議論で 「南京」の 真実究明を！

河村たかし名古屋市長は、姉妹都市である南京市との交流のなかで、日中関係にささったトゲともいうべき、いわゆる「南京事件」について、討論を呼びかけました。この発言は日中友好事業を進めてきた体験に基づき謙虚な姿勢から出たもので、非難されるべき要素はどこにもありません。ところが、南京市は名古屋との姉妹都市交流を中断するとし、中国共産党は「必ず代償を払うことになる」（人民日報）と報復措置を示唆しました。日本国内にも、河村発言の撤回を求めるなどの動きがあります。

このような不当な圧力によって議論が封じられることがあってはならず、立場の如何を問わず自由な言論が保証されなければなりません。私たちは、率直な討論の必要を提起した河村発言は貴重な提言だと考えます。その意味で党派を超えて河村発言を支持し、この問題についての議論が国民の間でも広がることを期待して、ここに意見を表明いたします。

平成二十四年九月

意見広告

●意見広告にご寄付を頂いた方々(50音順)

アイヌノカスノ 養道弘 青木孝史 アオキエミコ 青山藤 青山太郎 アカサカ サカサカ 赤野正広 秋山昭八 浅野真一 浅野真二 浅野真三 浅野真四 浅野真五 浅野真六 浅野真七 浅野真八 浅野真九 浅野真十 浅野真十一 浅野真十二 浅野真十三 浅野真十四 浅野真十五 浅野真十六 浅野真十七 浅野真十八 浅野真十九 浅野真二十 浅野真二十一 浅野真二十二 浅野真二十三 浅野真二十四 浅野真二十五 浅野真二十六 浅野真二十七 浅野真二十八 浅野真二十九 浅野真三十 浅野真三十一 浅野真三十二 浅野真三十三 浅野真三十四 浅野真三十五 浅野真三十六 浅野真三十七 浅野真三十八 浅野真三十九 浅野真四十 浅野真四十一 浅野真四十二 浅野真四十三 浅野真四十四 浅野真四十五 浅野真四十六 浅野真四十七 浅野真四十八 浅野真四十九 浅野真五十 浅野真五十一 浅野真五十二 浅野真五十三 浅野真五十四 浅野真五十五 浅野真五十六 浅野真五十七 浅野真五十八 浅野真五十九 浅野真六十 浅野真六十一 浅野真六十二 浅野真六十三 浅野真六十四 浅野真六十五 浅野真六十六 浅野真六十七 浅野真六十八 浅野真六十九 浅野真七十 浅野真七十一 浅野真七十二 浅野真七十三 浅野真七十四 浅野真七十五 浅野真七十六 浅野真七十七 浅野真七十八 浅野真七十九 浅野真八十 浅野真八十一 浅野真八十二 浅野真八十三 浅野真八十四 浅野真八十五 浅野真八十六 浅野真八十七 浅野真八十八 浅野真八十九 浅野真九十 浅野真九十一 浅野真九十二 浅野真九十三 浅野真九十四 浅野真九十五 浅野真九十六 浅野真九十七 浅野真九十八 浅野真九十九 浅野真百

田中光彦 田中誠 田中啓 田中啓二 田中啓三 田中啓四 田中啓五 田中啓六 田中啓七 田中啓八 田中啓九 田中啓十 田中啓十一 田中啓十二 田中啓十三 田中啓十四 田中啓十五 田中啓十六 田中啓十七 田中啓十八 田中啓十九 田中啓二十 田中啓二十一 田中啓二十二 田中啓二十三 田中啓二十四 田中啓二十五 田中啓二十六 田中啓二十七 田中啓二十八 田中啓二十九 田中啓三十 田中啓三十一 田中啓三十二 田中啓三十三 田中啓三十四 田中啓三十五 田中啓三十六 田中啓三十七 田中啓三十八 田中啓三十九 田中啓四十 田中啓四十一 田中啓四十二 田中啓四十三 田中啓四十四 田中啓四十五 田中啓四十六 田中啓四十七 田中啓四十八 田中啓四十九 田中啓五十 田中啓五十一 田中啓五十二 田中啓五十三 田中啓五十四 田中啓五十五 田中啓五十六 田中啓五十七 田中啓五十八 田中啓五十九 田中啓六十 田中啓六十一 田中啓六十二 田中啓六十三 田中啓六十四 田中啓六十五 田中啓六十六 田中啓六十七 田中啓六十八 田中啓六十九 田中啓七十 田中啓七十一 田中啓七十二 田中啓七十三 田中啓七十四 田中啓七十五 田中啓七十六 田中啓七十七 田中啓七十八 田中啓七十九 田中啓八十 田中啓八十一 田中啓八十二 田中啓八十三 田中啓八十四 田中啓八十五 田中啓八十六 田中啓八十七 田中啓八十八 田中啓八十九 田中啓九十 田中啓九十一 田中啓九十二 田中啓九十三 田中啓九十四 田中啓九十五 田中啓九十六 田中啓九十七 田中啓九十八 田中啓九十九 田中啓百

渡部行雄 渡部百彦 渡部武美 渡部武彦 渡部健一 渡部健二 渡部健三 渡部健四 渡部健五 渡部健六 渡部健七 渡部健八 渡部健九 渡部健十 渡部健十一 渡部健十二 渡部健十三 渡部健十四 渡部健十五 渡部健十六 渡部健十七 渡部健十八 渡部健十九 渡部健二十 渡部健二十一 渡部健二十二 渡部健二十三 渡部健二十四 渡部健二十五 渡部健二十六 渡部健二十七 渡部健二十八 渡部健二十九 渡部健三十 渡部健三十一 渡部健三十二 渡部健三十三 渡部健三十四 渡部健三十五 渡部健三十六 渡部健三十七 渡部健三十八 渡部健三十九 渡部健四十 渡部健四十一 渡部健四十二 渡部健四十三 渡部健四十四 渡部健四十五 渡部健四十六 渡部健四十七 渡部健四十八 渡部健四十九 渡部健五十 渡部健五十一 渡部健五十二 渡部健五十三 渡部健五十四 渡部健五十五 渡部健五十六 渡部健五十七 渡部健五十八 渡部健五十九 渡部健六十 渡部健六十一 渡部健六十二 渡部健六十三 渡部健六十四 渡部健六十五 渡部健六十六 渡部健六十七 渡部健六十八 渡部健六十九 渡部健七十 渡部健七十一 渡部健七十二 渡部健七十三 渡部健七十四 渡部健七十五 渡部健七十六 渡部健七十七 渡部健七十八 渡部健七十九 渡部健八十 渡部健八十一 渡部健八十二 渡部健八十三 渡部健八十四 渡部健八十五 渡部健八十六 渡部健八十七 渡部健八十八 渡部健八十九 渡部健九十 渡部健九十一 渡部健九十二 渡部健九十三 渡部健九十四 渡部健九十五 渡部健九十六 渡部健九十七 渡部健九十八 渡部健九十九 渡部健百

南京陥落75周年 **南京戦はあったが「南京虐殺」はなかった**

「南京事件」の真相に迫る国民集会

周辺国の激しい「領土侵略」にさらされている日本。その背景には、近代日本を犯罪国家とねじ曲げる「歴史侵略」がある。南京陥落75周年に当たり「南京事件」の真相に迫る大集会です。

日時●平成24年12月13日(木)午後6時～8時

場所●憲政記念館大講堂
千代田区永田町1-1-1

参加費●1000円 資料代(当日)

主催●南京の真実国民運動(代表・渡部昇一)

お問い合わせは下記「国民運動事務局」まで。

プログラム

特別出演●河村たかし名古屋市長

基調講演●渡部昇一「あるはずのない南京虐殺」

特別報告●鈴木清次「南京戦体験者は証言する」

報告●茂木弘道「南京虐殺は国民党の戦時謀略宣伝である」

藤岡信勝「歴史侵略」を受け入れる日本の教科書」

総括講演●加瀬英明「汚辱の歴史を払拭するためにどうするか」

〈南京事件を視覚的に検証するパネル展〉本月初公開!